

# JPNIC 第62回・63回総会報告

2018年度事業計画・収支予算  
2017年度事業報告・収支決算  
新役員のご紹介

特集  
Special Article

## 第62回JPNIC臨時総会(2018年度事業計画・収支予算)※1

### 第1号議案 2018年度事業計画承認の件

2018年の事業計画について、各事業の詳しい説明に入る前に、まずは林宏信事務局長より事業の実施体制や法人運営、財源など、JPNICに関する全体的な説明を行いました。それに続いて、佐藤晋IP事業部次長と前村昌紀インターネット推進部部長より、IPアドレス事業とインターネット基盤整備事業それぞれについて、具体的な実施事業とその重点項目について説明を行いました。ここでは、2018年度にJPNICとして注力したいポイントを記載します。



- JPNIC全体に関わる事項**
  - IPアドレス事業とインターネット基盤推進事業の2事業体制を継続しつつも、必要な見直しを行う。また、インターネット領域の拡大への対応を考慮し、新規事業について検討する。
  - 会員の要望に沿った事業・サービスのあり方について検討を進め満足度の向上を図ると同時に、外部交流の深化・拡大により新たに会員として入会していただけるように努めていく。
  - 安全性・信頼性向上に配慮した法人運営を行うと同時に、法人内外の人材・組織等からの知見を活用する。また、評議委員会等の体制構築や取り組みを充実させていく。
- IPアドレス事業**
  - レジストリシステム、業務体制、財務について、災害発生時あるいは非常時に備えた検討を行う。
  - APNICとの連携、協調を深めると同時に、APNICコミュニティや地域インターネットレジストリ、ネットワークオペレーターズグループ等に対して日本の情報を発信していく。
  - 海外の番号資源に関する動向について情報収集を行い、JPNIC会員およびIPアドレス管理指定事業者へ情報を提供する。
- 基盤整備事業**
  - 従来のエンジニアに加え他の層にも対象を広げ、基盤や基盤技術への理解を促進する。
  - 2019年3月の第64回ICANN会議開催に関して、ローカルホストとして寄与するとともに、国内からの参加推進など認知度向上を図る。
  - レジストリデータとPKI技術のノウハウを活かして新たな環境に役立つ仕組み作りを提案していく。
  - 高まる緊張感やセキュリティへの脅威を分析し、今後のJPNICとしての方針検討を行うと同時に、得られた知見をインターネットガバナンス関連業務に活用する。

### 第2号議案 2018年度収支予算承認の件

事務局長の林より、第1号議案の事業計画を実行するための予算案について説明を行いました。2018年度予算と、前年度予算の比較は次の通りです。

経常収益予算	515,750,000円 (前年度比 +5,230,000円)	当期経常増減額	-45,740,000円 (前年度比 -11,000,000円)
経常費用予算	561,490,000円 (前年度比 +16,230,000円)	正味財産期末残高	1,911,385,716円 (前年度比 -24,156,858円)

上記2議案につき質疑応答が行われた後、各議案の賛否を議場にお語りした結果、原案の通り承認可決されました。

※1 第62回臨時総会 資料・議事録 <https://www.nic.ad.jp/ja/materials/general-meeting/20180316/>

2018年3月18日(金)、第62回JPNIC臨時総会を東京都千代田区のアーバンネット神田カンファレンスにて開催し、2018年度の事業計画案および収支予算案を会員の皆様にお諮りしました。また2018年6月15日(金)には、第63回JPNIC通常総会を東京・飯田橋のホテルメトロポリタン エドモントにて開催し、「JPDメイン名登録管理業務移管契約第13条に基づくJPRSの責任事項に関する実績評価結果報告」等の2件のご報告とともに、2017年度の事業報告、収支決算および役員改選の3議案を、審議事項として上程しました。本稿では、この二つの総会について簡単にご報告します。

## 第63回JPNIC通常総会(2017年度事業報告・収支決算、新役員選任)※2

### 第1号議案 2017年度事業報告承認の件

2017年度の事業報告について、新任の久保正仁事務局長より、まずJPNIC全体に関する説明を行いました。引き続き、IP事業部次長の佐藤およびインターネット推進部長の前村より各事業部の報告を行い、本議案は原案の通り承認可決されました。ここでは、2017年度に実施した事業の内容に関して、ポイントとなる点を列挙する形で記載します。事業報告書では、グラフや写真を織り交ぜつつ読み易くまとめているので、総会資料も併せてぜひご覧ください。



- 全体**
  - 2017年度も事業計画および収支予算に沿い、IPアドレス事業とインターネット基盤整備事業の2事業体制を継続し、安定的な法人運営を行った。
  - 2017年度の会員数は前年度と同程度を維持、出張セミナーをはじめ各種会員特典をご利用いただいた。
- IPアドレス事業**
  - IPアドレス管理指定事業者数が増加、IPv6アドレスの割り振りも増加した。IPv4アドレス移転、AS番号の移転は過去最高の件数。また、IPv4アドレス移転に関する積極的な情報提供に取り組んだ。
  - JPOPMおよびAPNICカンファレンスでコンセンサスとなった事項に関して、それらの実施を行った。
  - WHOISの正確性向上に関する議論に関しては、JPNICとして具体的な対応が必要となる状況が発生しなかったことから、他RIRの状況等について情報提供を行った。
  - VNNICのスタッフと情報交換を行ったほか、TWNICより招待を受けて「Global IPv6 Summit in Taipei」で講演を実施した。
- インターネット基盤整備事業**
  - 「JPNIC Newsletter」の紙面を大幅に刷新し、新コーナーなどを開始すると同時に全ページのカラー化を行った。
  - KSKロールオーバーに関する情報提供を行ったほか、2017年8月の大規模経路障害に関しては、解説記事の執筆やメディアからの取材対応などを実施した。
  - 「Internet Week ショーケース in 名古屋」を開催した。Internet Week 2016で好評だったものや地元のニーズが高いものを中心に講演を行い、多くの方にご参加いただいた。また技術セミナーではハンズオンを含む計16コースを実施したほか、会員の協力も得ながら4地域でIPv6対応セミナーを開催した。
  - レジストリデータベースを活用したルーティング技術に関する調査研究を行い、その成果を情報処理学会のシンポジウムで発表した。
  - JPNIC来訪に合わせてICANN CTOのDavid Conrad氏を囲んだ国内関係者向け意見交換会を開催したほか、ISOCおよびISOC-JPと合同でオンラインライブパシに関するカンファレンスを開催した。
  - IGF JapanとIGCJの共同運営に関して、体制を確立し相互活動への関与を増大させた。

### 第2号議案 2017年度収支決算承認の件

事務局長の久保より、2017年度の法人運営、事業実施における損益状況等の財務諸表について説明を行い、原案の通り承認可決されました。

経常収益	546,756,530円 (前年度比 +5,975,483円)	経常増減額 (評価損益等調整前)	9,897,017円 (前年度比 -3,615,755円)
経常費用	536,859,513円 (前年度比 +9,591,238円)	正味財産期末残高	1,955,613,075円 (前年度比 -13,262,641円)

### 第3号議案 役員選任の件

今後2年間、JPNICの運営を担うこととなる役員が選任されました。今回の理事候補については、19名の候補者のうち15名が理事会からの推薦、4名がJPNIC会員から推薦された候補者でした。監事候補者3名に関しては、全員理事会からの推薦となりました。また、役員合計22名のうち、5名が新任の候補者となりました。候補者数は理事、監事ともに、定款で定める定員(理事20名以内、監事3名以内)であったため信任投票を行った結果、全候補者が信任され、候補者からは就任が承諾されま

した。総会終了後に引き続き理事会が開催され、次ページの「新役員のご紹介」の通り、各役員の役割が決まりました。

その他本総会では、報告事項として「JPDメイン名登録管理業務移管契約第13条に基づくJPRSの責任事項に関する実績評価結果報告」および「公益目的支出計画実施報告」について報告しております。

(JPNIC 総務部 佐々木理人)

※2 第63回通常総会 資料・議事録 <https://www.nic.ad.jp/ja/materials/general-meeting/20180615/>

特集1  
Special Article

# 新役員のご紹介

役職順に50音順、氏名の下は所属、中段 枠内は JPNIC 内での分担、下段はこれからの2年に向けての抱負 (役員の肩書きは2018年7月3日時点のものです)

## 理事長(代表理事)



**後藤 滋樹**  
早稲田大学  
理工学術院 基幹理工学部  
情報理工学 教授

執行理事・人事委員会委員

人間社会の神経網となったインターネットの信頼性を高めるために、ますますJPNICの役割が大きくなっていきます。皆様のご協力を得て微力ながら働きたいと思っております。

## 副理事長(代表理事)



**江崎 浩**  
東京大学大学院  
情報理工学系研究科  
教授

執行理事・人事委員会委員・分野担当(セキュリティ)

国内外で、たくさんのインターネットへの挑戦が発生しています。インターネットが、「健全に」、その重要な特性を維持しながら発展することへの責任を、みなさんと果たしていかなければならないと考えています。

## 副理事長(代表理事)



**野村 純一**  
株式会社ゲンザイ  
代表取締役

執行理事・人事委員会委員

インターネットが社会基盤として有効に機能するためには、JPNICでもさまざまな課題への取り組みが必要で、私は理事として、特に組織としての在り方と適切な業務運営に貢献する所存です。

## 常務理事



**石田 慶樹**  
日本ネットワーク  
イネイブラー株式会社  
代表取締役社長

執行理事・人事委員会委員・分野担当(ドメイン名)

これらの2年、サイバー空間と現実社会の間のズレによる課題がますます顕在化してきています。そのズレを調整する活動に対してフォロワー・アゲインストの両方の風が吹く中で、やるべきことを粛々と進めていきます。

## 常務理事



**伊藤 公祐**  
一般社団法人重要生活機器連携  
セキュリティ協議会  
ストラテジックアドバイザー

執行理事・人事委員会委員

5Gによる本格的な大規模モバイルIoT時代が見えてきたが、リアルな社会に影響があるサイバー空間でのセキュリティ問題も顕著に現実化している。この問題に、ネットワークサービス層、インフラ層、端末層が相互に連携し、コミュニティ全体で健全なサービスを構築できる環境づくりを会員の皆さんと考えていきたい。

## 常務理事



**佐野 晋**  
株式会社  
日本レジストリサービス  
代表取締役副社長

執行理事・人事委員会委員

特定企業によるサービスや情報が集中する中、それに対抗する制度の施策が運用されつつあります。『のどかなインターネット』で育ったユーザーが見ると、いろいろ感じるがありますが、本当に使いやすい、安心なインターネットにするためには、まだまだ、やることが一杯あります。

## 常務理事

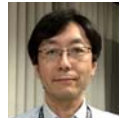


**曾根 秀昭**  
東北大学  
サイバーサイエンスセンター  
教授

分野担当(DRP)

ドメイン紛争事例のためのDRPについて、ここ数年間の紛争事例の中には想定外のケースも見られるようになってきていて、修正の必要性などについて専門家のご検討が得られ取り組んでいくことが必要と考えております。

## 常務理事



**長谷部 克幸**  
日本電信電話株式会社  
技術企画部門  
担当部長

執行理事・人事委員会委員・分野担当(IPv6推進、セキュリティ)

5G/IoT時代向けさまざまなサービスが本格稼働を迎える中、その通信を支えるICT基盤は今まで以上に重要度を増してきています。利用者と提供者が安心、安全そして継続して利用できる基盤の維持・発展に向けて推進していきます。

## 常務理事



**藤崎 智宏**  
エヌ・ティ・エー・コミュニケーションズ  
株式会社 システム 企画部門  
第一グループ 担当部長

執行理事・人事委員会委員・分野担当(IPポリシー・グローバル)

社会インフラとして、必要不可欠となったインターネットですが、セキュリティ対応、IPv6普及等、喫緊の課題も発生しています。オープンでノバイティブなインターネットのさらなる発展のために、JPNICの活動を通じ、貢献をしていきたいと思っております。

## 常務理事



**三膳 孝通**  
株式会社インターネット  
インシアティブ  
技術主幹

執行理事 人事委員会委員 資産運用委員会委員

情報社会の重要社会基盤であるネットワークに対し、様々な期待や要望、課題が増えています。改めて、ネットワークの意味や果たすべき役割を長期的に展望することが大切であり、その一端を担えるよう努力していきます。

## 理事



**宇井 隆晴**  
株式会社  
日本レジストリサービス  
企画部長(兼) 経営企画室長

資産運用委員会委員

インターネットが美社会と急速に融合しつつある現在、インターネットの発展は社会の発展であり、社会の問題はインターネットの問題です。コミュニケーションの幅を広げ、JPNICが何をすべきか見出しければと思います。

## 理事



**高藤 重成**  
KDDI株式会社 理事  
技術統括本部  
ネットワーク技術本部長

資産運用委員会委員

これらの2年間は、5G、IoT、ビッグデータ、AIなどインターネットを取り巻く環境が大きく変わり、グローバルレベルで社会も大きく変わっていきます。JPNICがコミュニティをつくる役割は、ますます重要になると思いますが、会員の皆様とインターネットの発展に貢献していきたいと思っております。

## 理事



**佐々倉 秀一**  
エヌ・ティ・エー・  
コミュニケーションズ株式会社  
取締役ネットワークサービス部長

分野担当(新技術)

AIとの融合、IoTの進展により、インターネットは一層国民生活に不可欠なインフラとして拡大していきます。利用者、事業者両方の視点から、安心安全なインターネットの実現に貢献していきたいと思っております。

## 理事



**高田 寛**  
株式会社シーシー  
データセンターサービス事業部  
データセンターサービス部 特別顧問

分野担当(新技術)

インターネットが社会的に必要不可欠なものとなった今、「技術」だけでは解決できないさまざまな事象が発生しています。JPNICがこれらもインターネットと社会の発展に寄与できるよう、活動していきたいと考えています。

## 理事



**中村 素典**  
国立情報学研究所  
学術基盤推進部学術基盤課  
学術認証推進室 特任教授

分野担当(新技術)

学術ネットワークの整備・運用に携わる者として、これらのインターネットにおける学術分野の役割について考えていきたい。

## 理事



**馬場 聡**  
北海道総合通信網株式会社  
執行役員  
ソリューション推進部長

分野担当(非営利・地域)

『2020年転換の年』に向けての2年間、リアルな環境だけではなく、ヴァーチャルな世界においてもさまざまな動きが顕在化してくると思います。この新たな「潮流〜うねり」をいち早く捕らえて、成長し続けるインターネット環境を、ISP/会員の皆様と支えていけたらいいと考えています。

## 理事



**穂坂 俊之**  
株式会社Qinet  
執行役員  
法人営業部長

分野担当(非営利・地域)

インターネットの利活用がますます進んでいく中、サービス提供側や受益者に求められるリテラシーも日々変化しています。その環境下でJPNICができること、私が貢献できることを考え抜いて取り組んでいきたいと思っております。

## 理事



**松崎 吉伸**  
株式会社インターネット  
インシアティブ  
サービス基盤部 インフラ企画部

分野担当(グローバル)

インターネットレジストリとして期待される資産管理を着実に実行するはもちろぬのこと、地域内でも日々変化しています。その環境下でJPNICがインターネットの発展に資するよう尽力したいと考えています。

## 理事



**脇山 俊一郎**  
仙台高等専門学校  
総合工学科 教授

分野担当(非営利・地域)

Internet Week ショークースが昨年名古屋、今年広島で開催されました。首都圏だけでなく、全国各地で活躍されている方々への情報提供や議論、成長の場を提供を、さらに進めていけるよう努力したいと思います。

## 監事



**青木 邦哲**  
株式会社ASJ 専務取締役  
最高執行責任者

人事委員会委員

独立の立場を保持し、公平不偏の態度をもって自らの信念に基づき行動しようと考えています。業務および財産状況の調査助言だけでなく、新たな課題についても微力ながら貢献していきたいと考えております。

## 監事



**高宮 展樹**  
ビッグロブ株式会社  
システム基盤本部  
本部長

インターネットが生活に深く浸透してきていく中で、様々なリスクも高まっています。より快適でより安全なインターネットの普及に微力ながら貢献するとともに、監事としてJPNICの健全性の担保に努めてまいります。

## 監事



**西脇 孝博**  
富士通株式会社  
ネットワークサービス事業本部  
本部長代理

IoT、AI、AR/VR、ロボットなどのデジタル技術を活用した新しいデジタルビジネスにインターネットは欠かせない一方、サイバー攻撃の脅威にさらされています。デジタル時代のインターネットの課題に対して、会員の皆様とともに取り組んでいきたいと思っております。